

平成 31 年 4 月 4 日  
山口合同ガス株式会社

## 下関市上下水道局山陰終末処理場 消化ガス発電事業開始について

山口合同ガス株式会社（社長：三喜田修一）は、株式会社神鋼環境ソリューション、ヤンマーエネルギーシステム株式会社と共同で、下関市と「下関市上下水道局山陰終末処理場消化ガス発電事業」に関する事業契約を平成 28 年 3 月に締結し、消化ガスを燃料とする発電所の建設を進めてまいりました。このたび竣工を迎え平成 31 年 4 月 1 日より本格稼働し、4 月 3 日に消化ガス発電事業開始式を開催致しました。

開始式には、前田晋太郎下関市長をはじめ下関市議会議員様や下関市上下水道局様、企業グループ関係者など、約 40 名の方にご出席頂きました。

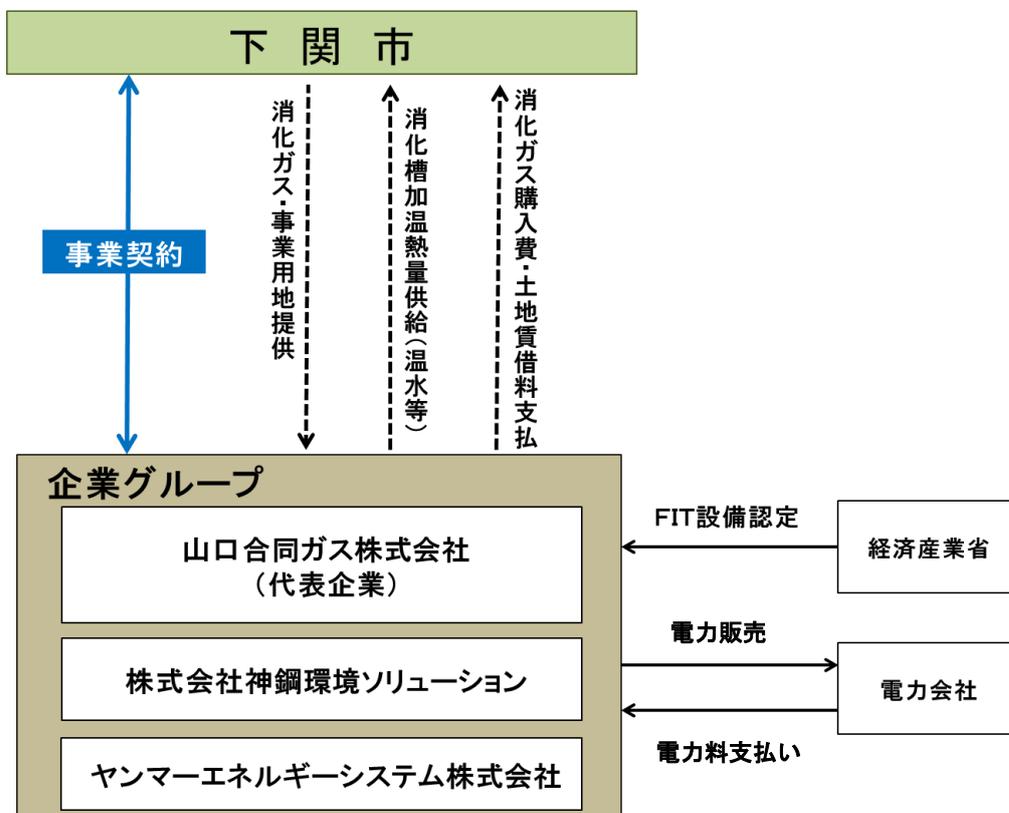
弊社を代表企業とする企業グループは、山陰終末処理場内に発電設備を建設し、汚泥の処理過程で発生する消化ガスを買取り、「再生可能エネルギー固定価格買取制度（以下、FIT 制度）」の適用を受けた消化ガス発電事業を行う事で、消化ガスの有効利用を促進し、地球温暖化防止に貢献します。また、地元企業が代表企業となる事で事業収益の地元循環に貢献し、再生可能エネルギーの地産地消を行います。

本事業は民間の資金とノウハウを活用した民設民営方式であり、弊社がこれまで取り扱ってきた、ガスエンジンコージェネレーション及びガスエンジンヒートポンプのノウハウを活かすと共に、都市ガス事業を通じて培われた組織体制を活用し、株式会社神鋼環境ソリューション、ヤンマーエネルギーシステム株式会社と連携して、安心・安全・安定した事業運営を行ってまいります。

### 【消化ガス発電事業の内容】

- ① 事業名：下関市上下水道局山陰終末処理場消化ガス発電事業
- ② 事業方式：民設民営方式
- ③ 事業場所：下関市大字垢田字洞の上（山陰終末処理場内）
- ④ 施設概要：発電設備一式  
発電容量 300kW（バイオマス発電機 25kW×12 台）
- ⑤ 年間発電量（最大）：約 2,700,000kWh/年（一般家庭 800 世帯相当）  
※将来の増設見込み含む
- ⑥ 発電事業期間：平成 31 年 4 月 1 日～令和 21 年 3 月 31 日（20 年間）

【事業スキーム】



【竣工した山口合同ガス山陰終末処理場発電所】



【消化ガス発電事業開始式の様子】



(写真最前列右側から) ※敬称略

下関市上下水道事業管理者 上下水道局長 松崎 淳志

下関市議会 副議長 吉田 真次

下関市議会 議長 林 透

下関市副市長 三木 潤一

下関市長 前田 晋太郎

山口合同ガス株式会社 相談役 林 泰四郎

同 上 取締役会長 河野 孝正

同 上 代表取締役社長 三喜田 修一

株式会社神鋼環境ソリューション 代表取締役社長 粕谷 強

ヤンマーエネルギーシステム株式会社 代表取締役社長 中島 史雄

以上